


平成27年8月21日

大磯町議会議長 吉川 重雄 様

神奈川県秦野市今泉109-1
いずみレジデンス1001
090-5755-7141
幸福実現党 平塚後援会
中野 淳子 

「戦後70年談話」(安倍談話)の撤回を日本政府に求める

意見書の提出についての陳情

【趣旨及び理由】

8月14日、安倍晋三総理は、終戦の日に先立って「戦後70年談話」(「安倍談話」)を発表しました。

この度の「安倍談話」は、わが国を「国際秩序への挑戦者」として「進むべき進路を誤り戦争への道」を進んだ悪い国であったことを認め、村山談話などの歴史認識を踏襲し「繰り返し、痛切な反省と心からのお詫びの気持ち」を表明したものです。

しかし先の大東亜戦争は、欧米列強から、アジアの植民地を解放し、白人優位の人種差別政策を打ち砕くとともに、わが国の正当な自衛権の行使としてなされたものです。

談話の中で「世界の平和と繁栄にこれまで以上に貢献」することを謳ったところで、「アジアを植民地から解放した」の先人方の誇りを忘れたところに本当の国際貢献はあるのでしょうか。

もとより、「日本は侵略国家である」とする歴史観は、米国占領軍が原爆投下を正当化するため、東京裁判において恣意的につくり上げられたものです。

また日本の歴史への誇りは、「国を愛する心」ともつながり、「国防意識」にもつながっています。安保法制をめぐる議論をみても、日本を悪とみる自虐史観を見直さなければ「国防意識」も生まれません。ましてや憲法9条の改正や防衛力の強化の必要性を理解することはできません。

よって歴史認識をめぐる日本の名誉と誇りを回復し、日本の国を守る心を育て、世界の平和と繁栄に貢献できる国家へと日本を新生させるべく、以下を要望いたします。

一、この度の「安倍談話」を撤回し、自虐史観を払拭する談話を要望する。

【陳情事項】

以上により、貴議会において、地方自治法第99条の規定により政府(内閣総理大臣、外務大臣、総務大臣)ならびに衆参両議院に対し意見書を提出すること。